



平成 22 年 4 月 30 日

各 位

会 社 名 浜井産業株式会社  
代表者名 代表取締役社長  
 井上 忠  
 (コード番号 6131 東証第2部)  
問合せ先 常務取締役経理部長  
 山畑 喜義  
(TEL. 03 - 3491 - 0131 )

## 通期業績予想の修正および剰余金の配当に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 21 年 11 月 12 日に公表いたしました平成 22 年 3 月期（平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日）の業績予想につきまして、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。また、本日開催の取締役会において、平成 22 年 3 月期の期末配当金につきまして決議いたしましたので、あわせてお知らせいたします。

### 記

#### 1. 通期業績予想の修正

(1) 平成 22 年 3 月期 通期個別業績予想数値の修正（平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) (平成 21 年 11 月 12 日発表)	百万円 4,000	百万円 △400	百万円 △425	百万円 △241	円 銭 △7.41
今回修正予想(B)	3,679	△497	△499	△315	△9.69
増減額(B-A)	△321	△97	△74	△74	—
増減率(%)	△8.0	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績(平成 21 年 3 月期)	8,599	314	230	17	0.55

#### (2) 修正の理由

経済環境は、中国等のアジア地域を中心とした新興国に牽引される形で緩やかな回復傾向にあり、機械受注も昨年同時期の最悪期を脱し、ピーク時の 50%程度まで回復しつつあります。そのような環境下、全社を挙げて、販売強化、生産性の向上、経費の圧縮などの諸施策を強力に推進してまいりましたが、当社の主要顧客であります電子・電機関連業界の新規設備投資発注は、年度末に本格化したこともあり、業績への反映は、次期へとずれ込む見通しとなりました。この結果、売上高を始め予想数値に届かず、上記のように業績予想を修正いたします。

## 2. 剰余金の配当について

剰余金の期末配当金につきましては、平成21年11月12日に公表しました「業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ」から変更がなく、本日開催の取締役会にて、期末配当金につきましては、誠に遺憾ではございますが、見送りとさせていただくことを決議いたしました。

この業績予想の修正および期末配当の見送りを経営陣は、重く受け止め、昨年3月以来実施しております取締役、監査役の月額報酬の15%~25%の減額、役員賞与の見送り、管理職給与の5%減額等の固定費削減策を今年度4月以降も当面継続してまいります。

今後さらに、一層の業務の効率化、固定費を中心とした経費の削減を進めると同時に、新規受注の獲得、生産性の向上等に注力し、業績の回復、収益確保に努めてまいります。

※上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、業績の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

以 上